

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 47986-102 7 E51

作成： 2011/11/29

改訂： 2015/02/02

製品名： リライアソル E-B A

1. 化学物質等及び会社情報

製品名： リライアソル E-B A
 会社名： JX日鉱日石エネルギー株式会社
 住所： 〒100-8162 東京都千代田区大手町二丁目6番3号
 担当部門： 添付資料参照
 (TEL: 添付資料参照, FAX: 添付資料参照)
 緊急連絡電話番号： 添付資料参照

2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
引火性液体	区分外
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入：粉塵・ミスト)	区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	区分2A-2B
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分外
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1
吸引性呼吸器有害性	区分外

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 吸入すると有害
軽度の皮膚刺激
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
臓器(肺)の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肺、皮膚)の障害

注意書き： 安全対策 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
眼に入れないこと。飲み込まないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 47986-102 7 E51

作成： 2011/11/29

改訂： 2015/02/02

製品名： リライアソル E-B A

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
 保管 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
 一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
 施錠して保管すること。
 廃棄 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。
 不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
 成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
鉱油	60-70	---	既存	既存	安衛法通知物質-168	非該当	非該当
界面活性剤	0-3	---	既存	既存	非該当	非該当	非該当
水	1-5	---	既存	既存	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼水で洗う。
 皮膚刺激または炎症等皮膚に異常が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
 眼に入った場合： 清浄な水で数分間注意深く洗う。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
 その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
 飲み込んだ場合： 可能であれば、多量の水を飲ませ、吐き出させること。
 意識がない場合は水を与えたり、吐かせたりしないこと。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末消火剤、泡消火剤（耐アルコール性）、二酸化炭素、砂、噴霧水

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 47986-102 7 E51

作成： 2011/11/29

改訂： 2015/02/02

製品名： リライアソル E-B A

使ってはならない消火剤：	棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
特有の危険有害性：	火災によって刺激性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法：	加熱により容器が爆発するおそれがある。
	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。
	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	作業の際には、保護具を着用する。
	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。
	風上に留まる。
	低地から離れる。
環境に対する注意事項：	下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。
封じ込め及び 浄化の方法及び機材：	少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。
	大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、出来るだけ空容器に回収する。
二次災害の防止策：	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
	全ての着火源を速やかに除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は保護具を着用する。
	取り扱いには通気の良い所で行い、呼吸用保護具を使用する等してミストまたは蒸気を吸入しないようにする。
局所排気・全体換気：	室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。
注意事項：	火気注意
安全取扱注意事項：	取扱い後はよく手を洗うこと。
	屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
	エタノールアミンが含まれているので、亜硝酸塩を含む防錆剤等を混合して使用しないよう注意する。
	容器を開ける時は、手を切る恐れがあるので、保護手袋を着用する。
	飲食または喫煙しないこと。
	眼に入れないこと。
	粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
保管	
安全な保管条件：	保管場所に施錠して保管することが望ましい。
	保管場所の床は、床面に水が浸入しない構造とすること。
	容器は密閉して換気の良い涼しい所で保管すること。
	適切、かつ、必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。
安全な容器包装材料：	情報なし

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 47986-102 7 E51

作成： 2011/11/29

改訂： 2015/02/02

製品名： リライアソル E-B A

密閉式の破損・腐食しないものを使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：

取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
高温取扱いで、工程で粉塵、ミスト、ヒュームが発生する時は、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH		
	管理濃度	許容濃度	TLV-C	TLV-STEL	TLV-TWA
鉱油	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 3mg/ m3 (Mineral Oil)	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 5mg/ m3 (Mineral Oil)
界面活性剤	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3
水	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3	未設定 ppm, 未設定 mg/m3

保護具

呼吸用保護具： 換気が不十分な場合には、適切な呼吸保護具(防塵マスク)を着用する。
手の保護具： 適切な手袋(不浸透性保護手袋)を着用する。
眼の保護具： 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具： 長期間にわたり取扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。
適切な衛生対策： 飲食または喫煙はしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 物理的状态： 液体
形状： 液体
色： 淡褐色
臭い： 特異臭
融点・凝固点： 流動点 データなし
引火点： 無し
燃焼の又は爆発範囲： 爆発限界 推定値1-7(%)
蒸気密度： データなし
密度(g/cm3)： 0.94(15℃)
溶解度： 水：易溶
n-オクタノール／水 分配係数： データなし
分解温度： データなし

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 47986-102 7 E51

作成： 2011/11/29

改訂： 2015/02/02

製品名： リライアソル E-B A

10. 安定性及び反応性

化学的反応性、化学的安定性：	常温で安定である。
危険有害反応可能性：	酸との混触により発熱する。 亜鉛、アルミニウムおよびこれらの合金を侵す。 ニトリル類、亜硝酸と結合して、動物実験で発がん性が立証されているニトロソアミンを生じる。
避けるべき条件：	混触危険物質との接触。 長時間加熱、火炎、発火源。
混触危険物質：	亜鉛、アルミニウムおよびこれらの合金、ニトリル類、亜硝酸化合物、強酸化剤、酸、禁水性物質
危険有害な分解生成物：	燃焼の際は煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

11. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（経皮）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（吸入）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
呼吸器感作性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚感作性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖細胞変異原性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
発がん性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖毒性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、単回ばく露：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、反復ばく露：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
吸引性呼吸器有害性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。

12. 環境影響情報

製品

生態毒性

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 47986-102 7 E51

作成： 2011/11/29

改訂： 2015/02/02

製品名： リライアソル E-B A

急性毒性（魚類）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
慢性毒性（魚類）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生体蓄積性：	現在のところ有用な情報なし。
土壤中の移動性：	現在のところ有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。
 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 投棄禁止。
 埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処理をすること。
 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

IMDG分類 国連分類： 非該当
 国内規制： 陸上輸送 消防法 非危険物
 海上輸送 船舶安全法 非危険物（個別運送及びバラ積み運送に於いて）
 航空輸送 航空法 非危険物
 輸送の特定の安全対策及び条件： 容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。

15. 適用法令

安衛法： 名称等を通知すべき有害物

16. その他の情報

参考文献等： 許容濃度等の勧告(2010)日本産業衛生学会 産業衛生学会誌
 米国産業衛生専門家会議(ACGIH) “TLVs and BELs 2010” (2010)
 IARC Monographs Programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans (2006)
 EC理事会指令「67/548/EEC」の付属書I「危険な物質リスト」
 日本規格協会(JIS) JIS Z 7250：2005 「化学物質等安全データシート(MSDS)」
 同上 JIS Z 7251：2006 「GHSに基づく化学物質等の表示」

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 47986-102 7 E51

作成： 2011/11/29

改訂： 2015/02/02

製品名： リライアソル E－B A

免責文：

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者提供されるものです。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。